

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度～令和2年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目（目標）	令和2年度		平成29～令和2年度総括		
	評価欄	評価理由	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
1 地域医療構想を踏まえた対象期間末における具体的将来像					
1-1 地域医療支援病院の承認（目標：平成30年度）					
1-1-1 平成28年9月に実施した南部区域の保健医療機関を対象とした「地域医療機関連携調査」の結果をもとに、地域医療機関との連携を強め、紹介率・逆紹介率の向上に努める。	B	地域連携担当4名体制で、登録医の拡大に努めている。引き続き、当センターへの紹介率及び地域の医療機関への紹介率の向上を図る。	B	地域連携担当4名体制で、登録医の拡大に努めている。引き続き、当センターへの紹介率及び地域の医療機関への紹介率の向上を図る。	医師会、歯科医師会未加入者の登録医は増大したが、医師会、歯科医師会加入者は微増のままで推移しているので、今後も登録医の拡大に努める。
1-1-2 医師会及び地域の医療機関と、施設の共同利用に向けた契約を締結する。	A	平成28年度実施済みMRI・CT・RI検査の施設共同利用件数 平成29年度：307件 平成30年度：402件 令和元年度：408件 令和2年度：551件	A	共同利用件数は着実に増加。	共同利用の更なる推進に向けて医師会等と緊密な連携を図る。
1-2 DPC特定病院群（Ⅱ群）への移行（目標：平成32年度）					
1-2-1 平成28年10月に増設した手術室1室を活用し、既存診療科における高度な手術件数の更なる増加を図る。	B	手術件数：5,332件（前年度比356件減） 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中に緊急を要さない手術を一時停止したことにより前年と比べ件数が減となった。	B	比較基準年である平成28年度手術件数 4,465件 5,008件（平成29年度） 5,182件（平成30年度） 5,688件（令和元年度） 5,332件（令和2年度） であり、基準年と比較し手術件数は増加した。	手術室の稼働状況を分析した結果、基準年度より手術件数は増加したが、DPC特定病院群（Ⅱ群）の基準値は達成できなかった。手術室の効率的な稼働により基準値を目指す。更に高度な手術の実施に努めていく。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度～令和2年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目(目標)		令和2年度		平成29～令和2年度総括		
		評価欄	評価理由	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
1-2-2	平成29年4月より心臓外科を新設し、新たに心臓外科領域の手術にも対応していくことで、外保連手術指数の向上を目指す。	B	心臓外科手術を年間59件実施し、心臓外科手術週1件、年間50件実施の目標を達成した。 経皮的カテーテル心筋焼灼術を年間96件実施した。	B	平成29年度 心臓外科手術を年間20件 平成30年度 心臓外科手術年間22件・経皮的カテーテル心筋焼灼術年間60件 令和元年度 心臓外科手術年間18件・経皮的カテーテル心筋焼灼術年間79件 令和2年度 心臓外科手術年間59件・経皮的カテーテル心筋焼灼術年間96件 と着実に実績を伸ばしている。	心臓カテーテル用検査装置を使用することによる経皮的カテーテル心筋焼灼術週2件、年間100件実施を目指し、DPC特定病院群(Ⅱ群)の要件の一つである外保連手術指数を向上させる。
1-2-3	内科領域に関しては、現在DPC特定病院群(Ⅱ群)要件をクリアしているため、現在の水準を維持・発展させる。	B	DPC特定病院群(Ⅱ群)要件を上回る水準で順調に推移している。	B	DPC特定病院群(Ⅱ群)要件を上回る水準で順調に推移している。	DPC特定病院群(Ⅱ群)要件の水準は年々上昇していることから、常に上回るよう努める。
2 埼玉県南部区域の基幹病院として、高度急性期医療に対応できる病院の実現						
2-1 救急医療の更なる充実						
2-1-1	ER型救急システムを稼働する。	A	令和元年7月にER用診療スペースの改修を完了し、10月より稼働。総合診療医は2名体制を継続している。	A	令和元年7月にER用診療スペースの改修を完了し、10月より稼働。総合診療医は2名体制を継続している。	
2-1-2	夜間・休日MRIを稼働する。	A	平成28年11月から継続実施 令和2年度実績：235件	A	平成28年11月から順調に継続実施できている。	
2-1-3	定期的な情報交換も含め、救急隊との連携を強化する。	B	3市合同事後事例検証会や救急隊のシミュレーション訓練効果確認などに医師が参加し、消防局救急隊との連携を図った。	B	毎年度、病院実習生を受け入れ、一定の取組を実施できた。	救急医療の更なる充実のため、引き続き消防局救急隊との連携強化に向けた取組を実施する。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度～令和2年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目(目標)	令和2年度		平成29～令和2年度総括		
	評価欄	評価理由	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
2-2 がん診療連携拠点病院としての専門的機能の更なる強化					
2-2-1 緩和ケア病床・緩和ケア病棟を設置する。	B	緩和ケア病棟の運用面に関して、医師、看護師、総合相談室のメンバーで年間8回の会議を開催して緩和ケア病棟の理念及び方針等を検討し、入退院基準を作成。 令和2年度中の完成を目指したが、コロナ禍により、整備は一部分に留まった。	B	がんで入院中の患者を対象にして、緩和ケア病棟が設置された際の具体的な運用方法について模擬患者症例を参考にしながら理念及び入退院基準等を作成。 令和2年度中の完成を目指したが、コロナ禍により、整備は一部分に留まった。	緩和ケア病棟の受入れ対象は、開所当初は当センターで治療中または退院した患者がメインとなる。今後の運用次第で順次、当センター以外での治療患者の受入れの準備を検討する。 ワクチン接種の進行具合などを参考に、新型コロナウイルス感染症患者の今後の動向を見定めつつ、未整備部分の整備を順次進める。
2-3 埼玉県基幹災害拠点病院としての機能の更なる強化					
2-3-1 大規模災害発生時のDMAT及びJMATとの連携体制を強化する。	B	DMAT研修に積極的に参加するとともに埼玉県医療整備課との連携強化を図っている。令和2年度は埼玉DMAT研修に2名参加した。	B	DMAT研修に積極的に参加し、埼玉県医療整備課との連携強化を徐々に図ることができた。	今後も、日本DMAT、埼玉DMAT等と連携を図り、研修や訓練などを通じ、更なる連携体制の強化に努める。また、JMATとの連携について再検討する。
2-3-2 BCPの検討を行い、災害発生時においても、より高いレベルで業務を継続する状況を整えていく。	A	厚生労働省作成のチェックリストに基づき、BCP計画に掲載できていなかった受援計画を作成することができた。	B	厚生労働省作成のチェックリスト項目をクリアしたBCP計画を作成することができたが、更新すべき事項の内容の精査ができていない。	新型コロナウイルス感染症や周産期医療などの対応を踏まえたBCP計画の改訂を進める。
2-3-3 病院災害マニュアルの見直しを継続する。	A	昨年度改定した災害対策マニュアルを基に、備蓄品の整理やアクションカードの作成と見直しを行うことができた。	A	災害対策訓練の結果を踏まえて災害対策マニュアルを随時更新することで、災害時に役立つマニュアルの見直しをすることができた。	水防計画の改訂を進めていく。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度～令和2年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目（目標）	令和2年度		平成29～令和2年度総括		
	評価欄	評価理由	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
3 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割					
3-1 高度急性期医療を提供する大規模自治体病院の特性を活かし、緊急時における後方病床の確保や、地域に必要な医療人材の確保・育成を積極的に進める。					
3-1-1 医師会・地域医療機関との間で、開放型病床利用に関する契約を締結する。	A	平成29年度実施済 開放型病床の利用ニーズ及び実績件数は現状ではなし。	A	平成29年度実施済 開放型病床の利用ニーズ及び実績件数は現状ではなし。	共同指導料算定には、紹介元医療機関の医師が当センター入院中の患者を共同で診療する必要がある。現状では紹介元医療機関の医師は当センターに来院できる時間的余裕等がないため実施に至っていない。しかしながら、訪問診療を積極的に行っている医療機関では、患者の状態等によっては当センターに来院して共同診療を希望される場合もあるので、そうしたニーズに迅速に対応できるように努める。
3-1-2 地域医療の人材育成に向けて、体制を整備する。 【例：卒後臨床研修評価受審（平成28年12月受審）、認定・取得】	A	令和2年11月に臨床研修評価の書類審査を受審し、令和5年1月までの認定を取得している。	A	臨床研修評価の認定を継続取得している。	
3-1-3 生涯学習システムの見直しを継続する。 【例：院内研修の集約・充実、階層別研修・入職時研修・事務職研修の見直し・充実】	A	文書管理（PFC）大会の開催や内部監査養成講座を実施し、内部監査を定期的にも実施した。 新型コロナウイルス感染症防止のため、オンライン形式の講義を導入しながら院内研修の充実を図った。	A	一部見直しを実施し、同時にコロナ禍もあり、新たにオンライン研修を取り入れた。その結果、教育の多様性を図ることができた。	引き続き院内研修の見直しを図るとともに、講師を育成するプログラムを検討する。
3-1-4 医師及び看護師のサポートスタッフの採用・育成を進める。	B	看護師や看護補助者を積極的に採用するとともに、医師事務作業補助者についてもパートタイマーの採用に加え常勤者2名を採用したが、目標の人数には達していない。	B	看護師や看護補助者については、概ね目標の人数まで採用できた。医師事務作業補助者については、目標の人数には届かないものの、パートタイマーの増員に加え、常勤職員の採用を実施した。	医師事務作業補助者については、目標数の達成に向けて、採用を実施する。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度～令和2年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

		令和2年度		平成29～令和2年度総括		
評価項目（目標）		評価欄	評価理由	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
3-2 地域医療連携の推進にかかる取組の推進						
3-2-1	平成21年度から開始している開業医等とのネットワーク強化にかかる取組を継続する。 【例：地域医療機関への訪問、地域医療機関・介護施設向けの研修会の開催、地域医療連携懇話会の開催、連携登録医の導入】	A	<p>地域医療機関への訪問を実施するなど、ネットワークの強化に努めた。また、地域連携推進懇話会を年度内2回実施し、うち1回は自由な交流を主体にしたものとし、地域の医療機関と顔の見える関係づくりを進める予定であったが、新型コロナウイルス感染症のためやむを得ず中止となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療機関への訪問件数 平成29年度：55 平成30年度：274 令和元年度：150 令和2年度：16 ※令和元年度及び令和2年度は新型コロナウイルスのため訪問を一時休止 ・地域医療連携懇話会の開催実績 平成29年度：2回 平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：新型コロナウイルス感染症のため中止 ※令和2年度は、やむを得ず開催中止となったため、令和3年3月に「地域連携だより（特別号）」を作成のうえ、川口市近隣医療機関向けに令和3年度の主要事業について報告。 	A	<p>地域連携推進懇話会を年度内2回実施。うち1回は自由な交流を主体にしたものとし、地域の医療機関と顔の見える関係づくりを進めた。また、地域医療機関への訪問を実施するなど、ネットワークの強化に努めた。</p>	<p>今後も年2回、医療・介護・福祉・保健業務に携わる関係者を交えて地域連携推進懇話会を開催し、最新の診療内容等を情報提供したりするなど、地域完結型医療を推進するために関係者との顔の見える関係づくりを継続して実施する。</p>

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度～令和2年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

		令和2年度		平成29～令和2年度総括		
評価項目(目標)		評価欄	評価理由	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
3-2-2	平成19年度から、紹介患者の受入体制の整備、充実に向けた各種取組を実施しているが、病病・病診連携の更なる推進に向け、紹介患者受入体制を一層強化していく。 【例：紹介患者予約枠・優先受入にかかる運用の見直し】	B	平成30年4月から救急紹介ホットラインを開始して、紹介受入体制を強化している。また、平成30年7月から病診予約の受付時間を17時から19時に2時間延長して受入体制を拡大している。	B	救急紹介ホットライン 平成30年度：受入件数 811件 令和元年度：受入件数1,210件 令和2年度：受入件数1,048件 病診予約受付(時間延長) 平成30年度：受入件数 373件 令和元年度：受入件数 630件 令和2年度：受入件数 557件	コロナ禍の影響により、令和2年度の救急紹介ホットライン及び病診予約受付件数は前年度より減少。今後とも地域の医療機関との連携強化に努めて、受入件数の拡大を図る。
3-2-3	在宅医療・介護との連携を強化するための取組を実施する。 【例：主治医・往診医を含めた退院前カンファレンスの実施、MCSを用いた医療機関・介護事業所等との情報共有の推進】	A	在宅医療等の従事者を交えた多施設合同緩和ケア会議については、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のためやむを得ず開催中止。また、在宅医療調整の際には、退院前カンファレンスを必ず実施している。	A	がん診療に関する地域医療連携体制を強化するため、令和元年度に在宅医療等の従事者を交えた多施設合同緩和ケア会議を実施した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のためやむを得ず開催中止。また、在宅医療調整の際には、令和2年度のコロナ禍にあっても、退院前カンファレンスを必ず実施している。	在宅医療に関する研究会に参加するなど、在宅医との連携強化、情報共有を図る。また、在宅医療従事者を交えた多施設合同緩和ケア会議を毎年1回以上定例開催する。
4 医療機能等指標に係る数値目標						
4-1 医療機能・医療品質に係るもの						
4-1-1	救急受入数(件/年) 令和2年度目標：4,981件	S	令和2年度実績：6,575件(9.7%減) (令和元年度実績：7,281件) 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中に緊急を要さない手術を一時停止したことにより前年と比べ件数が減となったが、目標を大幅に上回った。	S	平成28年度実績：5,170件 平成29年度実績：6,348件 平成30年度実績：6,511件 令和元年度実績：7,281件 令和2年度実績：6,575件 「断らない医療」の推進や令和元年にER型救急システムが稼働したことなどによるもの。	令和2年度目標件数(4,981件)は達成した。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度～令和2年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

		令和2年度		平成29～令和2年度総括		
評価項目(目標)		評価欄	評価理由	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
4-1-2	手術件数(件/年) 令和2年度目標：4,891件	A	令和2年度実績：5,332件(6.7%減) (令和元年度実績：5,688件) 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中に緊急を要さない手術を一時停止したことにより前年と比べ件数が減となったが、目標を達成した。	A	平成28年度実績：4,465件 平成29年度実績：5,008件 平成30年度実績：5,182件 令和元年度実績：5,688件 令和2年度実績：5,332件	令和2年度目標件数(4,891件)は達成した。
4-1-3	紹介率 令和2年度目標：65.0%以上	S	令和2年度実績：87.6% (令和元年度実績：78.6%)	S	平成29年度実績：70.1% 平成30年度実績：75.7% 令和元年度実績：78.6% 令和2年度実績：87.6%	令和2年度目標(65.0%以上)は達成した。
4-1-4	逆紹介率 令和2年度目標：40.0%以上	S	令和2年度実績：81.3% (令和元年度実績：73.2%)	S	平成29年度実績：61.3% 平成30年度実績：62.6% 令和元年度実績：73.2% 令和2年度実績：81.3%	令和2年度目標(40.0%以上)は達成した。
4-2 その他						
4-2-1	入院患者総合満足度 令和2年度目標：95.0%以上	A	令和2年度に調査を実施し、回答314人のうち、無回答を除いた98.5%の方から満足、やや満足との評価を得られた。	A	満足度 平成30年度：98.0% 令和2年度：98.5%	令和2年度目標値(95.0%以上)は達成した。
4-2-2	外来患者総合満足度 令和2年度目標：75.0%以上	A	令和2年度に調査を実施し、回答838人のうち、無回答を除いた90.5%の方から満足、やや満足との評価を得られた。	A	満足度 平成30年度：89.3% 令和2年度：90.5%	令和2年度目標値(75.0%以上)は達成した。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度～令和2年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目（目標）	令和2年度		平成29～令和2年度総括		
	評価欄	評価理由	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
5 住民の理解のための取組					
5-1 病院ホームページの充実を図る。	A	医師の紹介ページの掲載項目を改めるとともに、各科ごとの最新の診療実績等を掲載した。	A	サイトデザインやページ構成を刷新し、掲載内容を充実させ、患者や他医療機関から選ばれる病院となるためのホームページの構築に努めるとともに、記事の申請方法などの管理体制を整えた。	
5-2 川口市広報誌、広報誌「花水木」等によりPRを行う。	A	院外向け広報「花水木」を順調に発行し、市内外の医療機関へ広く配布した。医療情報誌への広告記事掲載は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和ケア病棟の設置が延期されたことから取りやめた。	A	院外向け広報「花水木」の規格・発行回数・部数等を改めるとともに、「広報かわぐち」に地域医療支援病院移行に伴う保存版特集記事等を掲載し、医療情報誌へも広告記事を掲載するなど効果的な広報に努めた。	
6 経営指標に係る数値目標					
6-1 収支改善に係るもの					
6-1-1 経常収支比率 令和2年度目標：101.3%	C	令和2年度実績：105.4% (新型コロナウイルス感染症の影響を除く試算 令和2年度実績：91.0%)	C	実績が目標値を下回ったため。	収益力強化のため、以下に取り組む。 ・慢性期外来患者の削減 ・診療密度の向上 ・診療別収益比較の強化
6-1-2 医業収支比率 令和2年度目標：97.3%	C	令和2年度実績：88.2% (新型コロナウイルス感染症の影響を除く試算 令和2年度実績：84.8%) 新型コロナウイルス感染症の影響により外来や手術を制限したことなどから低い値となった。	C	実績が目標値を下回ったため。	

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度～令和2年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目（目標）	令和2年度		平成29～令和2年度総括		
	評価欄	評価理由	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
6-2 経費削減に係るもの					
6-2-1 給与費の対医業収益比率 令和2年度目標：47.0%	C	令和2年度実績：58.9% (令和元年度実績：56.0%)	C	実績が目標値に達していないため。	入院患者数、手術件数増減による、時間外勤務手当の増減、また、常勤医師の不足を補うための医師報酬金の支出の増加のため、給与費が増加となったが、医師の働き方改革により、時間外勤務の縮減に取り組む。
6-2-2 材料費の対医業収益比率 令和2年度目標：24.6%	B	令和2年度実績：26.6% (令和元年度実績：25.4%)	B	抗がん剤の使用量の増加や手術件数の増加に伴い、材料費が増加したこと等により、全期間を通じて目標達成には至らないことが多かったため、各現場での適正な使用を促すこと等により、引き続き改善に努める。	薬品・診療材料ともに価格交渉、後発品への切替、物品の統合・入替等の手法により、安価での購入に努める。また、物品管理システムを活用し、薬剤部と連携しながら材料の適正な使用方法及び使用量について医療従事者へ情報提供を行い、各現場での適正な使用を促すことで対医業収益比率の改善に努める。
6-2-3 減価償却費の対医業収益比率 令和2年度目標：9.6%	A	令和2年度実績：9.6% (令和元年度実績：9.1%)	A	採算性を十分精査した取得資産の選定をすることにより、全体を通じて目標値を概ね達成でき、予定どおりの成果を上げたが、新規リース資産の減価償却費の増により増加傾向にあるため、引き続き比率の改善に努める。	今後とも採算性を十分精査した取得資産の選定をすることにより比率の改善を図る。
6-2-4 後発医薬品使用割合 令和2年度目標：80%以上	A	令和2年度実績：94.14% (令和元年度実績：94.03%)	A	国が掲げた使用割合目標値80%以上の目標値を継続して達成している。	今後とも国が掲げた目標値である80%以上の使用割合を維持しつつ、より高い使用割合での達成を目指す。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度～令和2年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目(目標)	令和2年度		平成29～令和2年度総括		
	評価欄	評価理由	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
6-3 収入確保に係るもの					
6-3-1 入院患者数(人/日) 令和2年度目標：496人	B	令和2年度実績：396人/日 (令和元年度実績：468人/日) 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中に緊急を要さない手術を一時停止したことにより前年と比べ人数が減となった。	B	平成29年度実績：473人/日 平成30年度実績：458人/日 令和元年度実績：468人/日 令和2年度実績：396人/日 令和2年度目標値は未達成。	地域の医療機関に対し、当センターが得意とする診療内容のPRを行うとともに、返書及びかかりつけ医への紹介状の作成率を向上させ、救急紹介ホットラインの紹介率の向上と断りの削減を実施するなど、連携を一段と深めて、入院患者の増加に努める。
6-3-2 新入院患者数(人/日) 令和2年度目標：38人	B	令和2年度実績：32.1人 (令和元年度実績：37.0人) 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中に緊急を要さない手術を一時停止したことにより前年と比べ人数が減となった。	B	平成29年度実績：33.5人/日 平成30年度実績：34.3人/日 令和元年度実績：37.0人/日 令和2年度実績：32.1人/日 令和2年度目標値は未達成。	
6-3-3 平均在院日数 令和2年度目標：12.0日	A	令和2年度実績：11.3日 (令和元年度実績：11.7日)	A	平成29年度実績：13.1日 平成30年度実績：12.3日 令和元年度実績：11.7日 令和2年度実績：11.3日 令和2年度目標値(12日以下)は達成した。 クリニカルパスの見直しや早期退院促進の取り組みなどによるもの。	入院1週間以内に後方連携担当者が患者・家族に相談介入し、早期退院促進等に取り組むと同時に、平均在院日数の短縮に努める。
6-3-4 病床稼働率 令和2年度目標：92.1%	B	令和2年度実績：73.4% (令和元年度実績：86.8%) 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中に緊急を要さない手術を一時停止したことにより前年と比べ稼働率が減となった。	B	平成29年度実績：87.7% 平成30年度実績：85.0% 令和元年度実績：86.8% 令和2年度実績：73.4% 令和2年度目標値は未達成。	入院患者の増加及び平均在院日数の短縮に一層取り組み、病床稼働率及び利用率の向上に努める。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度～令和2年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

		令和2年度		平成29～令和2年度総括		
評価項目(目標)		評価欄	評価理由	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
6-3-5	病床利用率 令和2年度目標：85.0%	B	令和2年度実績：67.5% (令和元年度実績：80.0%) 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中に緊急を要さない手術を一時停止したことにより前年と比べ利用率が減となった。	B	平成29年度実績：81.5% 平成30年度実績：78.6% 令和元年度実績：80.0% 令和2年度実績：67.5% 令和2年度目標値は未達成。	入院患者の増加及び平均在院日数の短縮に一層取り組み、病床稼働率及び利用率の向上に努める。
6-3-6	外来患者数(人/日) 令和2年度目標：1,084人	B	令和2年度実績：964人/日 (令和元年度実績：1,105人/日) 救急、予約、紹介患者のみ受け入れていたため前年と比べ人数が減となった。	B	平成29年度実績：1,085人/日 平成30年度実績：1,204人/日 令和元年度実績：1,105人/日 令和2年度実績：964人/日 令和2年度目標値(1,084人)は未達成。	地域医療支援病院として外来診療の適正化を図り、紹介患者中心の診療を行う。
6-4 経営の安定に係るもの						
6-4-1	常勤医師数 令和2年度目標：120人	B	令和2年度末常勤医師数：101人 (令和元年度末常勤医師数：103人)	B	平成29年度末115人 平成30年度末110人 令和元年度末103人 令和2年度末101人と減少している。	大学医局へ医師の派遣を依頼するなど引き続き必要な医師の確保に努める。
7 新たな施設基準等の取得による収益向上						
7-1	DPC特定病院群(Ⅱ群)	B	入院期間が影響する項目及び各手術の重み付けをする外保連手術指数などの項目が要件を満たさず移行できなかった。	B	4年間を通し、同じ項目で基準を満たすことができず、未達成となった。	手術内容を分析することで、要件の基準を満たすための効率的な対策の提案をし、達成を目指す。
7-2	地域医療支援病院	A	平成29年度承認取得。平成30年4月1日から地域医療支援病院開始	A	平成29年度承認取得。平成30年4月1日から地域医療支援病院開始	今後も基準の維持に努める。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度～令和2年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

		令和2年度		平成29～令和2年度総括		
評価項目(目標)		評価欄	評価理由	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
7-3	看護職員夜間12対1配置加算1	A	令和2年6月取得	A	平成30年7月～12対1配置加算1 平成30年12月～16対1配置加算1 令和2年6月～12対1配置加算1	令和2年6月以降12対1配置加算1となっており、体制の維持・整備に努める。
7-4	病棟薬剤師配置加算1	A	平成28年11月取得	A	平成28年11月取得	今後も基準の維持及び効果的な運用に努める。
7-5	医師事務作業補助体制加算2(30対1)	A	令和2年7月取得	A	令和2年7月取得	今後も基準の維持及び効果的な運用に努める。
7-6	急性期看護補助体制加算(50対1)	A	令和2年6月取得	A	令和2年6月取得	今後も基準の維持及び効果的な運用に努める。
7-7	国際標準検査管理加算(ISO15189)	A	ISO15189の認定を検体部門、生理検査部門を含め検査科として取得完了した。 これにより、検査結果の精度が担保されている事が認定された。 また、国際標準検査管理加算を得ることとなった。	B	ISO15189の認定は取得したが、当初予定より大幅に遅れた。 取得が遅れた為に新型コロナウイルス感染症のパンデミックとも重なり、業務負担が増加した。 また、生理機能検査で実施している一部の検査項目がまだ認定されていない。	院内で実施している認定対象となる全ての検査項目について認定を取得する。 ISO15189の維持に努める。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度～令和2年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

		令和2年度		平成29～令和2年度総括		
評価項目(目標)		評価欄	評価理由	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
8 その他						
8-1	平成21年度から取り組んでいる地域完結型医療の実現に向けた医療センターの役割、地域の診療所における「かかりつけ医」機能、医療センターと地域診療所の連携強化にかかる取組を今後も継続する。	A	登録医登録件数・令和2年度医科218件、歯科103件、計321件 ※医師会、歯科医師会加入者以外も含む	A	登録医登録件数・令和2年度医科218件、歯科103件、計321件 ※医師会、歯科医師会加入者以外も含む	引き続き、登録医名を院内及びホームページに掲載し、かかりつけ医への受診を啓発するとともに、地域連携推進懇話会の開催、地域医療機関への経営幹部による訪問等を実施し、地域連携のネットワークづくりを強化する。
8-2	平成20年度に導入した院内保育室の24時間保育を継続する。	A	引き続き24時間保育を実施し、職員の職場復帰及び子育て支援を行った。	A	令和2年度に実施したアンケート結果においても、利用者満足度の高い項目が多く、職員の職場復帰及び子育て支援を実施できた。	
8-3	平成19年度に導入した改善推進活動を継続する。	A	改善推進活動は継続して実施した。講義・報告会はオンライン形式や書面で実施した。	A	改善能力養成講座・報告会の開催は毎年継続して実施、改善推進活動は定着化している。	引き続き改善推進活動を実施する。外部講師だけでなく院内の改善活動推進チームメンバーへの教育を実施し、より適切な改善を行える環境を作る。
8-4	平成19年度導入の医療者を中心とした階層別研修を継続する。	A	階層別研修を引き続き実施した。コロナ禍のため集合教育を中止したため、フォローアップ研修は実施出来なかった。一方で、オンライン研修導入(階層別研修の一部置き換え、医療職がテーマを自由選択)や、DVD研修など個人もしくは部署内聴講という新たな研修形式を取り入れ、研修方法の多様化が実現した。	A	引き続き医療職の階層別研修を実施し、新たにオンライン形式をはじめとする多様な研修形態を実現できた。一方で個人研修の場合の効果判定について課題が見つかった。	引き続き階層別研修の見直し(おもに内容の精緻化、フォローアップ研修実施)を実施するとともに、院内講師育成プログラムを策定する。個人研修の場合の効果判定方法を検討する。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度～令和2年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目（目標）		令和2年度		平成29～令和2年度総括		
		評価欄	評価理由	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
8-5	業務改善に向けた環境整備を図るために、入退院センター及び予約センターの設置、電子カルテを含む既存システムの更新、整備を進める。	A	患者支援センターを設置し、入退院、紹介、予約の機能をワンストップ化した。また、平成30年5月に電子カルテシステムの更新を行った。	A	患者支援センターを設置し、入退院、紹介、予約の機能をワンストップ化した。また、平成30年5月に電子カルテシステムの更新を行った。	患者支援センターの機能を維持するとともに、引き続き、電子カルテを含む既存システムの更新、整備を実施する。
8-6	住民の健康増進に寄与するために健診事業の拡大を検討する。	A	総合健診センター内に内視鏡室2ブース設置し、平成30年7月から川口市胃がん（内視鏡）検診を実施した。	A	健診事業の拡大を検討し、胃がん検診の拡大に努めた。	